

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9921		事務事業名称	過誤納還付金						短縮コード	経常	9921	臨時	
予算区分	会計	91	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	08	その他営業費用		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道事業会計規程							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
水道事業開始以来。水道事業会計規程第27条に基づく。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
市民の過誤による二重納付等であり，速やかに還付できる業務体制が近年特に求められる。毎年，過誤納はあり件数に大きな変化はないと思われる。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上						
						細 項 目	03	水道事業の健全経営						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成18年4月 ～ 平成19年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	過納、誤納した人						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 過誤納のあった人へ還付の手続きをした。						
	※平成19年度に計画していること： 過誤納還付。						
意図 （何を狙っているのか）	過誤納された分の料金を還付する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	正当な額の料金を徴収する。						
区 分			単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	過誤納した人数	人	3	1	2	1
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	過誤納した人へ還付手続き	件	14	5	25	5
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	過誤納金の還付を受けた人数	人	3	1	2	1
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	水道普及率	%			98.9	
	指標2						
	指標3						

コード	9921	事務事業名称	過誤納還付金			所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			早期・正確に還付出来るよう、委託事業者と協議して手法プロセスの改革・改善を図る。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			早期・正確に還付出来るよう、手法プロセスの改革・改善を図る。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							

所属長コメント	早期・正確に還付出来るよう手法プロセスの改革・改善を図る。						
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続		課題等がなく、委託事業者との協議により改善が図られるのであれば、推進すべき。				
	☒ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							